

試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません

## 令和6年度個別学力検査(後期日程)

# 小 論 文

(畜産科学課程)

試験時間 90分

### 注意事項

- 1 問題用紙はこの表紙と2枚目の白紙を含めて3枚です。
- 2 この問題用紙のほかに、解答用紙が2枚、下書き用紙(色のついた用紙)が1枚(両面)あります。
- 3 解答開始の合図の後、解答用紙の所定欄に受験番号を記入すること。
- 4 解答は、解答用紙の所定欄に記入すること。うら面に記入したものは採点しない。
- 5 問題用紙及び下書き用紙は、持ち帰りなさい。

( 白 紙 )

## 問題

わが国の食料システムは、限られた農地を効率的に活用し、品種や栽培方法等を磨き、生産性を高める先人の技術の蓄積により形成されてきました。しかし、食料生産を担う生産者の減少・高齢化の一層の進行など、生産基盤の脆弱化や地域コミュニティの衰退が顕在化している中、農林水産業の生産力強化が克服すべき課題となっています。また、近年、食料の安定供給・農林水産業の持続的発展と地球環境の両立が強く指摘されています。持続可能な開発目標（SDGs）が世界に広く浸透し、食の分野でも原料や資材の由来、栽培・製造のプロセスへの関心が国内外で高まり生産面の対応が求められていますが、持続可能な食料システムは、生産者だけでなく事業者や消費者の理解と協働の上で実現するものです。食に関わるこれら関係者の努力が、わが国の持続可能な食料システムの構築に必要と考えられます。（参考資料：農林水産省 HP）

そこで、あなたが将来、帯広畜産大学で学ぶことにより、こうした食料システムの問題にどのように貢献できるかを、あなたが帯広畜産大学で学びたいことを想定してあなたの考えを 1,000 字程度で述べなさい。